

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12 時 30 分～13 時 30 分

会長 鈴木和夫 幹事 山谷洋子 会報・雑誌・IT 委員長 原恵美子



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 年～2022 年度国際ロータリー会長
シェカール・メータ

第 1749 回 2021 年 9 月 2 日 (木) 《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘

2. 合 唱 国歌「君が代」, 「奉仕の理想」, ロータリーの目的

3. お客様の紹介

カトウ カズヤ
・加藤 一也 様

ヤバタ マサコ
・矢端 雅子 様 (小田原 RC)

・米山奨学生 シルバカーランバアラッチゲドナ・シーギリ・ヒマーシさん

4. 会長の時間



○緊急事態宣言で、タウンニュース社は、記事を制限
していて、外国コインの募金箱設置記事が 9 月末か
10 月になってしまいます。なるべく早く記事が出る
事を期待したいと思います。

○本日ハイブリット例会の練習と言うことで、古谷さん
の卓話が始まりましたら、皆様のパソコンの操作をし
て頂きまして、マイクのミュートを有効にして頂きた
い、ちょっとした音でも拾ってしまいますので、宜し
くお願いします。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

今月のロータリーレート: 1 \$ = 110 円

①米山日帰り研修旅行 日程延期のご案内

②日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ (2021 年 9 月)

③ロータリーの友事務所 9 月運営について

④2021 年 9 月基本的教育と識字率向上月間リソースのご案内

【受付文書】⇒無し

【例会変更】

《秦野中》

・9 月 3 日 (金) 通常例会 (ZOOM 併用)

・9 月 10 日 (金) 移動例会→通常例会 (ZOOM 併用)

【本日の配布物】

6. 奨学金、記念品授与及びスピーチ



○皆様こんにちは！今日で最後の例会参加になってしまいます。皆様と対面式お会いできると思っておりましたが、とても寂しくなります。この一年間半はあっという間でした。奨学金を頂きまして誠にありがとうございました。奨学金のおかげで勉強に集中し充実した留学生活を送る事が出来ました。ロータリー米山奨学を通じていろいろな人と出会い留学生とコミュニケーションを取り、様々な事を体験できたことを嬉しく思います。コロナによって、以前のようにイベントなどに参加出来なくなって残念に思います。私が今迄大学院で学んだ事、地域で体験した事、沢山の色々な事を知ることが出来ました。そして、これから国際的に、グローバルキャリアを巧知し、日本とスリランカとの架け橋になりたいと思っております。皆様のおかげで、我が家の夢がかないました。これからもロータリーに様々な活動に参加しながら沢山の友達を作りたいと思っております。また家族と一緒に日本で私の人生をもっと大切にもっと楽しくしたいと思っております。これからもよろしくお願いします。

※感謝状 米山記念奨学より 山谷洋子さんへ

※ヒマーシさんより、鈴木会長へはがきが届きました。

約一年半お世話になりました。私はこれから、ロータリーの教えにもある、人と助けあって、日本とスリランカの架け橋になれるような人物になりたいと思っております。これからもよろしくお願いします。

7. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日（会 員）

（配偶者）山本優子さん（9/1）、淵脇忠夫さん（9/1）

※山本さん、淵脇さんは前回例会分でした。大変申し訳ございません。

8. スマイル報告

9. 出席報告

○会員数 16名、出席義務 16名、出席数 12名、出席率 75%

10. 地区委員会報告

11. 委員会及びその他の報告

○会員増強委員会 大屋増強委員長

本日は、加藤さんが出席されました。

前さん、西村さん、中島さん、以上4名の方がハイブリット例会に参加頂く事になっております。よろしくお願いします。

12. 卓話 古谷スミ子さん

○パラリンピックの歴史について

1948年、イギリスのグットマン博士によって、始まりました。郊外の病院で開かれた、アーチェリーの競技会で始まったそうです。



どうしてアーチェリーかと言いますと、第2次世界大戦で、主に脊髄を損傷した兵士達のリハビリの一環として行われました。この大会が回を重ねて、1952年に国際大会になったそうです。なるほどオリンピックの歴史もありますが、パラリンピックの歴史も70年以上の歴史を知りました。このパラリンピック 一番大切な事は、勇気だそうです。競技に立ち向かう勇気、自分の障害に立ち向かう勇気、マイナスの情報に向き合い、強い意志を持ち素晴らしいインスピレーションをえて誰にでも公平に立ち向かう勇気が必要だというのが、このパラリンピックの心だそうです。今パラリンピックが盛んですが、8月末に始まったパラリンピックも、もう中盤です。スタートするときの新聞記事には、15という数字が並んでいました、皆さんお気づきになったでしょうか。何故15なのかな！ちょっと見ましたら、全人類の15%の人が何らかの障害を持っていること、原因は、お母さんのお腹の中での事故であったり、生まれてからの病気や事故であったり、100人中15人の人が障害を持っていると言う意味で15と言う数字が新聞紙面に載っていました。これも私どもが肝に銘じなければいけない。私は15と言う数字を聞いて、見て、もう一つ考えた事がありました。昨年の8月のスマイルで、大屋さんの言葉の中に「8月は、6日、9日、15日、日本人は忘れてはいけない日にちだ」とスマイルの言葉にありました。これは新聞の片隅に出ていた俳句でした。私は1947年生まれで、戦争を知らない世代です。でも子供心に戦争の影は、強く強く心の中に印象づけられました。では、この大切な日々どんな事があったのか、今日皆さんに一冊の絵本を紹介したいと思います。

○「かわいそうなゾウ」文 つちやゆきお、絵 たけべもといちろう

上野の動物園は花盛り。お花見で人が押し寄せ、動物園は混み合っています。像の檻の前では、二頭の像が芸当を披露しています。長い鼻を天に向けて日の丸を振ったり、よたよたと丸太渡りをすると、大勢の見物人は大喜びです。その広場から少し離れたところに、一つの墓がありました。賑やかな広場とは打って変わってひっそりと佇んでいます。その墓には動物園で死んだ動物達が祀られています。ほとんどの人はその墓の存在に気づきません。ところがある日、一人の男性がしみじみとその墓を拝んでいました。そして、その墓に眠る悲しい像の物語を聞かせてくれたのです。今、動物園には三頭の像がいますが、一昔前にも同じように三頭の像がいました。その頃、日本はアメリカと戦争中。その戦争が激しくなると、毎日東京に爆弾が雨のように振り落とされました。もし、爆弾が動物園に落ちたら大変な事になります。檻が壊れると、猛獣達が外で暴れだしてしまうのです。そこで、ライオンやトラやヒョウやクマなど、動物園の動物達に毒を飲ませて殺してしまいました。三頭の像も例外ではありません。いよいよ殺される順番が回ってきました。まず最初に順番が回ってきたのは、暴れん坊で言う事を聞かないジョン。ジョンはジャガイモが大好きなので、普通のジャガイモに毒入りのジャガイモを混ぜた餌が与えられました。ところが、利口なジョンは毒入りのジャガイモを嗅ぎ分けて、普通のジャガイモだけを口にします。そこで今度は、仕方なく毒薬を体へ注射することとなるのですが、像の体は皮が厚くて注射が刺さりません。馬に使う大きくて太い注射を使いますが、像に使うとすると針が折れてしまいます。最後は、食べ物を一つも与えずにいと17日目にジョンは死ぬのでした。そして次は、トンキーとワンリーの順番。この二頭の像だけでも助けたいと考え、仙台の動物園に送ることを決めました。ところが、仙台で爆弾がおとされれば、東京と同じように大変な事となります。一度は仙台に送る事を決めました。最終的には上野の動物園で殺さざるを得なくなりました。トンキーとワンリーも餌を与えられない日が続くうちに、段々とやせ細っていききました。見回りの人を見かけるたびに、「えさをください」というような目を向けるのです。飼育員は自分の子供の用に象達を可愛がってきたので、張り裂けそうな想いで檻の前を行ったり来たり。そうしているとトンキーとワンリーがひよろひよろと力ない足で立ち上がり、飼育員の前に進み出ました。そして、お互いにぐったりとした体を背中でもたれ合いながら、突然芸当を始めたのです。芸当をすれば以前のように餌が貰える、そう思っ

だったのです。そんなトンキーやワンリーの姿を見ているうちに、飼育員の我慢もとうとう限界。餌のある部屋に飛び込むと、二頭の像のもとに餌と水を運び始めました。ついにワンリーは11日目に、ドンキーは21日目にどちらも鉄の檻にもたれながらやせ細った鼻を高く伸ばして、万歳の芸当をしたまま死んでしまいました。動物園の人達は像の檻に集まってみんなで、どーと檻の中に入りこみました。像の体に取りすがって象の体を揺さぶりました。みんなおいおいと声をあげて泣きだしました。そんな頭の上を爆弾を積んだ敵の飛行機が東京の空に攻めて来ました。像に抱き着いたままこぶしを振り上げて叫びました。戦争をやめろ！戦争をやめてくれ！やめてくれよ！後で象を調べてみると、タライ位ある大きな胃袋には、一滴の水さえも入っていなかったのです。この三頭の像は石のお墓に眠っているのです。動物園の人は目を潤ませてこの話をしてくれました。そして吹雪のように桜の花びらが散りかかってくる石のお墓をいつまでも撫でていました。

- 我が秦野名水 RC は、本を子供園に送る事業を展開しております。もちろんこんな悲しい物ばかりではありません。楽しい物、夢のある物、怖い物、多種多様です。これらは、柔らかな子供の心にじんわりとしみこんでいくのです。今日は、涼しくも外は雨が降っています。子供たちは園庭に出て遊ぶことはできないと思っています。中には、保育士さんに本を読んでもらっている子供もいるでしょう。また、自分で絵を見て楽しんでいる子供もいると思います、子供達の心の成長にきっと絵本は大きな役割を担っていると思います。名水 RC が展開しているささやかな取り組みですが、私達の心の夢を育み、相手を思いやり、想像力の翼を広げ、心を豊かにしていると信じています。だからこそ絵本の贈呈事業を、長く続けてほしいと思っています。

13. 点 鐘

